

# 柏崎刈羽原子力発電所では津波への対策を進めています

福島第一原子力発電所における事故、および放射性物質の漏えいにより、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

## これまでの取り組み

発電所では、津波により電源と原子炉内の燃料および使用済燃料を冷却する機能がなくなった場合に備えて、緊急安全対策を講じました。

### 電源確保

- ・ガスタービン発電機 1台
  - ・電源車 4台
  - ・エンジン付発電機 5台
  - ・モニタリングポスト用発電機 9台
- ⇒ 3月31日配備完了



電源車

### 冷却機能確保

- ・消防車 5台
  - ・可搬式水中ポンプ 4台
  - ・原子炉格納容器減圧用予備ポンプ 35本
  - ・空気圧縮機 4台
- ⇒ 4月13日配備完了



消防車

### その他

- ・原子炉建屋・海水熱交換器建屋の外部扉と壁貫通部の防水化  
⇒ 4月4日完了
- ・津波対応訓練  
⇒ 4月11日、4月20日実施

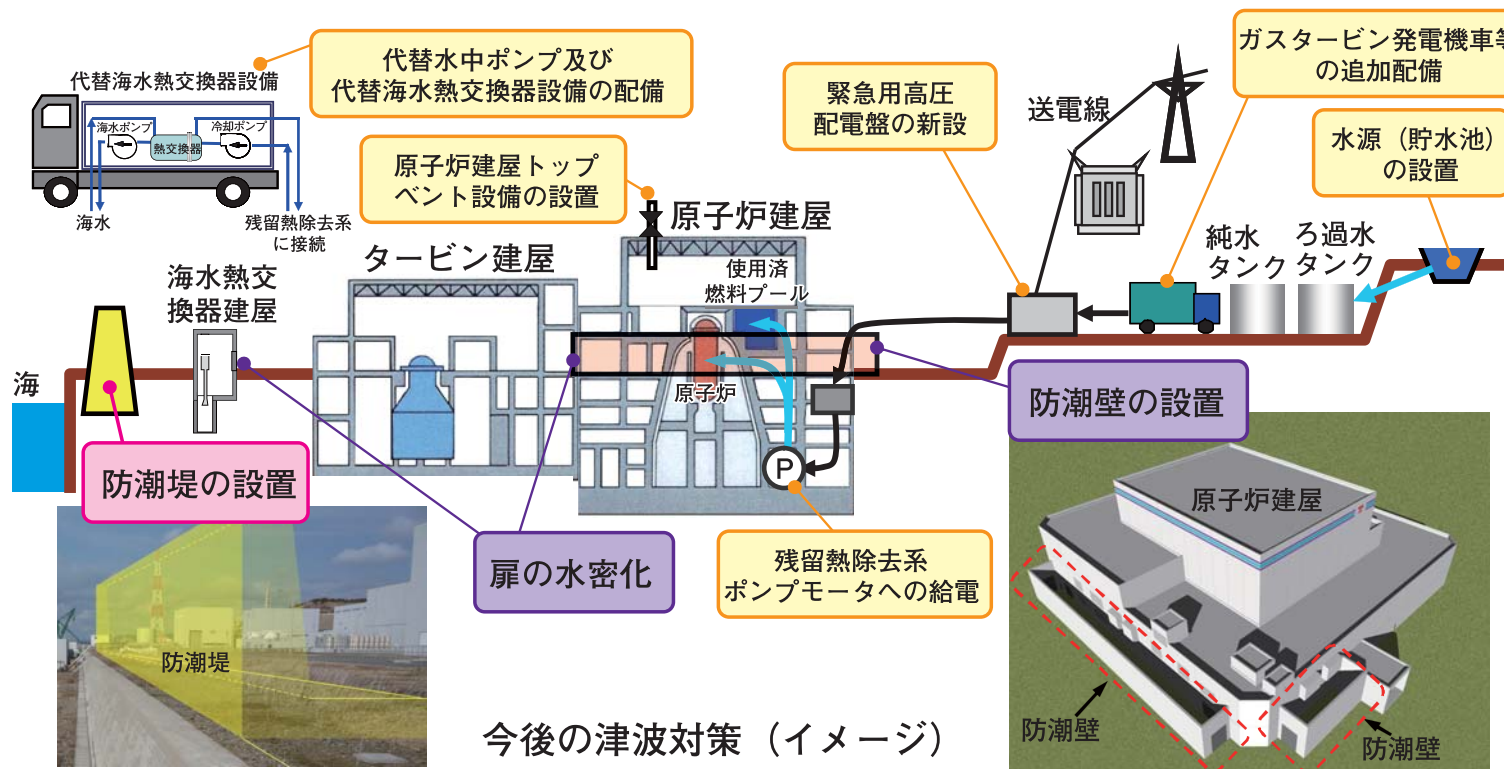


津波対応訓練

## これから実施する取り組み

津波に対して万全を期すための基本的な考え方

1. 海岸前面に設置する防潮堤により津波の浸入・衝撃を回避し、敷地内にある軽油タンクや建物・構築物等を防御します。
2. さらに、津波が敷地内に侵入した場合に、安全上重要な設備が設置されている建屋内への浸水を防ぐため、防潮壁の設置や扉の水密化を行います。
3. 上記に加えて、より安全確保に万全を期すため、冷却機能について、常設設備に加えて移動可能な電源や冷却機器による代替設備等を備えます。



今後、福島第一原子力発電所の事故状況の分析、評価を進め、柏崎刈羽原子力発電所の更なる安全対策を検討してまいります。